

授業科目	地域活性化研究				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO31504J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP4-2			
担当教員	友原 嘉彦							
授業概要	<p>本科目では国内外のさまざまな事例を通して、地域の活性化について検討していく。一口に地域の活性化と言っても、その手法は多様かつ複雑であり、どの地域が、どのような観点に基づき、どのように活性化させていくこと(また、いかないこと)が望ましいのか、本質的に考察できる講義としたい。</p> <p>成績評価はレポートの出来を主とするが、授業参加・貢献度も2割を占めているので、積極的な参画を期待する。</p> <p>*本科目は遠隔講義である。</p>							
学生が達成すべき行動目標	国内外のさまざまな事例を通して、地域の活性化について把握し、どの地域が、どのような観点に基づき、どのように活性化させていくこと(また、いかないこと)が望ましいのか、本質的に考察することができるようになる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	80	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			20				20	
思考・判断 (DP2-2)			30				30	
関心・意欲 (DP3-1)			30				30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)						20	20	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
国内外のさまざまな事例に基づき、地域の活性化についてよく把握し、どの地域が、どのような観点に基づき、どのように活性化させていくこと(また、いかないこと)が望ましいのか、論理的かつ本質的に考察し、よく説明することができるようになる。				国内外のさまざまな事例に基づき、地域の活性化について把握し、どの地域が、どのような観点に基づき、どのように活性化させていくこと(また、いかないこと)が望ましいのか、論理的かつ本質的に考察・説明しようとする努力ができるようになる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	ガイダンス			講義		復習		40

2	ガストロノミー	講義	復習	80
3	祭	講義	復習	80
4	ナイトライフ	講義	復習	80
5	宗教	講義	復習	80
6	文学	講義	復習	80
7	大学都市	講義	復習	80
8	斜面地	講義	復習	80
9	鉱工業都市	講義	復習	80
10	ディアスポラ	講義	復習	80
11	バックパッカー	講義	復習	80
12	境界	講義	復習	80
13	最果て	講義	復習	80
14	死	講義	復習	80
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日頃より、さまざまな地域に関するさまざまなニュースに触れてください。			
テキスト	レジュメを配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電通 abic project 編(2009)『地域ブランドマネジメント』有斐閣</li> <li>・藻谷浩介、山田桂一郎(2016)『観光立国の正体』新潮新書</li> </ul>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	ある(似たような)地域だけにいても、実情についてよくわからないと思います。ケーキにしても、1回1つだけしか食べたことがなければ、ケーキとは、おいしくてもおいしくなくても、そんなものかと思ってしまうでしょう。さまざまなケーキを食べてみることで、ケーキとはこういうものだということがわかってくると思います。地域も同じですよ。ぜひ、いろいろな地域に出かけてみてください。比較することで自分のいる地域はどうだということがわかるでしょう。			
達成度評価に関するコメント	<p>ほかを表面的に真似してもなかなかうまくいきません。個人レベルでもそうですし、その集合体である地域であれば尚更です。地域 A を、なぜ、どのように、どの程度「活性」させていくのか、一緒によく考えていきましょう。</p> <p>達成度評価の「そのほか」とは、授業への参加・貢献度です。単に出席しているだけではなく、(意義のある)意見を発言してくれたり、過ぎた講義回での項目について復習していることで簡潔にまとめて説明してくれたり、といったことが得点の増加に関係します。一方、これらが不十分なだけでなく、授業を中断せざるをえないほどの声量で授業とは無関係のことについてしゃべっているなどした場合は得点の減少に繋がります。</p>			

